

新東名高速道路の自然環境の保全について(2021年10月20日)

中日本高速道路株式会社秦野工事事務所(神奈川県秦野市、所長・伊原 泰之)は、2021年9月29日に、新東名高速道路自然環境検討会(委員長:亀山章 東京農工大学名誉教授)を開催しました。検討会では新東名高速道路の建設に際し、計画路線周辺の自然環境の状況を踏まえ、これまでに実施してきた調査・検討結果を報告し、今後の調査計画および保全対策などに関して審議をおこないました。

1. 検討内容

- ①猛禽類調査および保全対策検討
- ②重要植物の移植、動植物に対する保全対策

2. 猛禽類調査および保全対策検討

1月～8月にかけて実施した希少猛禽類の生息・繁殖状況調査結果について報告を行いました。また、今後の保全対策について審議いただきました。

3. 重要植物調査結果、動植物に対する保全対策

計画路線周辺の重要植物の移植および動植物に対する工事中のモニタリング結果について報告をおこないました。

4. 検討会審議結果

猛禽類の保全対策検討における今後の調査対応・保全対策について、工事計画の詳細を相談しながら進めていくことで、了承をいただきました。

以上